

キー・トピック

• EEF 2018 での投資協定締結見込み総額 3.5 兆ルーブル

• ロシア極東投資誘致・輸出支援局がウィーンに代理店を開業

• コルマル社がヤクーチアで選鉱工場「デニソフスカヤ」の操業開始



東方経済フォーラム関連ニュース

2018年4月25日 RIAノーボスチ

EEFでは北朝鮮商品の「総合商社」を設立

A・クルチコフ極東開発次官は、北朝鮮の対外経済大臣と会談し、総合商社のコンセプトについて協議した。本店設立地にはウラジオストク自由港が提案され、代理店はモスクワと平壤に開設することを提案。

北朝鮮側からは、食品、建材、医薬品と医療設備、香水・化粧品、縫製品、電子機器、衣料品など、総合商社が取引する商品一覧がロシア連邦極東開発省に提出された。さらに、総合商社は、年一回北朝鮮の商品やサービスをテーマに展示会を開催する予定。

<https://ria.ru/economy/20180425/1519349121.html>

2018年4月24日 Lenta

EEF 2018での投資協定締結見込み総額3.5兆ルーブル

第4回東方経済フォーラムに向けて、「2017年ロシア極東地域への投資成長率が17.1%となった理由と今後の展望」をテーマにモスクワで有識者ラウンドテーブルが行われた。このラウンドテーブルでは、EEF 2018で話題になる極東地域の発展を目指す新しい仕組みについて紹介した。

数あるビジネスプログラムのひとつは、今後5~6年の間に同地域の経済成長を支える「将来的な産業」を話題としている。さらに、恒例となっているアジア太平洋諸国とのビジネス対話のほかに、欧州やインド、ベトナム、南アフリカ共和国の事業者たちとのラウンドテーブルも開催される予定。

<https://lenta.ru/news/2018/04/24/soglasheniia35>

2018年4月19日 タス通信

すでに17カ国がEEF 2018への参加を表明

アラブ首長国連邦、イギリス、インド、ウクライナ、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ジャージー、シンガポール、スイス、中国、ドイツ、日本、ノルウェー、フランス、米国の代表が東方経済フォーラムへの参加を表明している。ロシアの事業者1,353人と外国の事業者2,346人を含む計3,974人宛に招待状が送られている。

<http://tass.ru/ekonomika/5141010>

2018年4月11日 インターファクス通信

韓国浦項市の政府代表団がEEFに参加

李康徳浦項市長が韓国の主要産業の中心地である浦項市の代表団の団長として参加する。同代表団には浦項市行政官や市議会議員、商工会議所や事業界の代表者や記者がメンバーとなる。東方経済フォーラム2018への参加が両国にとって相互に有益な経済協力の強化を促すと韓国側は強調した。

<http://www.interfax.ru/events/news/607987>

2018年4月4日 コムソモリスカヤ・プラウダ紙

第4回東方経済フォーラムで「ルースキー」テクノパークの革新プロジェクトを紹介

特別セッションで、極東地域の革新開発を目指す最優秀プロジェクトを紹介する予定。2017年9月の創立以降、ロシア極東地域の6つの地方から37社の企業がテクノパークの入居企業となっている。2018年5月31日をもって連邦入居者選定第1期が終了する見通し。

<https://www.kp.ru/daily/26814/3850768>

ロシア極東地域の国家政策

2018年4月24日 ロシースカヤ・ガゼータ（ロシア新聞）

極東地域における電子ビザ発給数約1.3万件

特に中国人と日本人が極東地域に入国するために積極的にビザ申請をしており、その発給ビザ数は1.1万を上回った。沿海地方やカムチャツカ、サハリンに入国できる電子ビザ制度は18カ国に適用される。現在、ロシア連邦議会国家院は、極東連邦管区の他の自治体へも電子ビザ制度を拡大する法案を検討している。

<https://rg.ru/2018/04/24/reg-dfo/na-dalnem-vostoke-vydano-pochti-13-tysiach-elektronnyh-viz.html>

2018年4月20日 「論拠と事実」（アルグメントウイ・イ・ファクトウイ）

ハバロフスク市で「中国投資家の日」開催

この会合では、中国投資家による農業や医療、養殖業の開発、畜産施設の建設、海上および陸上交通のインフラなど、10件を超える投資プロジェクトの実施が話題になった。

Y・トルトネフ副首相は、中国の大手企業の幹部との会談に臨み、この会合により露中関係の発展と、中国ビジネスが徐々に議論から計画実施に移行していることが明らかになったと述べた。

http://www.hab.aif.ru/money/v_habarovske_proshel_den_kitayskogo_investora

2018年4月19日 タス通信

ロシア極東投資誘致・輸出支援局がウィーンに代理店を開業

A・ガルシカ氏は、本年4月19日に行ったヤルタ国際経済フォーラムで、オーストリアの投資家のニーズに応じ、ロシア極東投資誘致・輸出支援局の新しい代理店を開業することになったと述べた。現在、同局の代理店は、北京と上海で開業しており、本年末までにソウル、東京、インドの代理店を開業する見込み。

<http://tass.ru/ekonomika/5142991>

ロシア極東地域の経済状況

2018年4月2日 コムソモリスカヤ・プラウダ紙

中国投資家が沿海地方の煉瓦製造工場に27億ルーブルを出資

中国の「松江コンクリートコンポネンツ」社は、年間生産能力2百万トンの耐火耐水レンガ製造工場の建設を計画している。このプロジェクトは「プリアムルスカヤ」先行発展領域で実施される。開業にはセメントの原料の産地の開発が必要である。本プロジェクトの実施には3年かかる見込みだ。

<https://www.amur.kp.ru/online/news/3069636>

極東発展を目指す新しい装置——成功の実例

2018年4月26日 インターファクス通信

「コルマル」社がヤクーチアで選鉱工場「デニソフスカヤ」の操業開始

先行発展領域「南ヤクーチア」に、年間能力6百万トンの新規石炭処理加工工場がわずか10か月で竣工した。同社は100%稼働率を目指し、新たに採炭所「東デニソフスカヤ」の建設を計画している。ロシアで初めて、中国のBeijing CATIC Industry Limitedにより開発された環境に優しい石炭処理加工技術を導入し、コークス石炭はロシア国内市場およびアジア太平洋地域諸国に供給される予定。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=929421>